

第160回国際研修
「サイバー犯罪の現状と対策」

1. 日程及び参加者

- 平成27年5月13日（水）から同年6月18日（木）まで
- 海外参加者16か国22名
- 国内参加者7名

2. セミナー概要

情報・通信技術の普及・発展により、サイバー犯罪は、技術的に高度化・複雑化し、伝統的な犯罪でもコンピュータが利用されるなど、その被害はますます拡大している。また、サイバー犯罪は容易に国境を越えることから、この種犯罪を効果的に捜査・訴追・処罰するためには、これらに関わる職員の基礎的な能力向上に加え、この分野に長けた民間業者との連携、他国の捜査・訴追機関との幅広い協力関係が必要不可欠となる。

そこで、本研修においては、各国における刑事司法実務家が、サイバー犯罪の脅威を認識し、その特質を理解するとともに、これに対峙するために必要となる基礎的知識・技術に加え、官民連携及び国際協力のベストプラクティスに関する知識を習得することにより、サイバー犯罪の捜査、訴追及び公判の改善につなげることを目的とする。

3. 客員専門家等

本セミナーにおいては、アジ研教官による講義のほか、以下のとおり、海外からの客員専門家及び国内の外部講師による講義を実施する。

【客員専門家】

- マルコ・ゲルケ教授（Prof. Dr. Marco GERCKE）
サイバー犯罪研究所（ドイツ）所長
- キム・グァン・レイモンド・チュー博士（Dr. Kim-Kwang Raymond CHOO）
南オーストラリア大学上席講師
- フェルナンド・フェルナンデス・ラザロ氏（Mr. Fernando FERNANDEZ LAZARO）
インターポール・グローバルコンプレックス・フォー・イノベーション（IGCI）
デジタル犯罪センター デジタルフォレンジックラボラトリー コーディネーター
- 本多祐樹氏（Mr. Yuki HONDA）
インターポール・グローバルコンプレックス・フォー・イノベーション（IGCI）
デジタル犯罪センター デジタル犯罪捜査支援課 サイバーフュージョンセンター
デジタル犯罪捜査官

【外部講師】（講義順）

- 田中龍士氏 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課国際係 警部

- 木村公也氏 警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課課長補佐 警視
- 鈴木文仁氏 株式会社エヌアイスタッフ ネットワークスペシャリスト
- 中西基裕氏 独立行政法人情報処理推進機構 技術本部セキュリティセンター
情報セキュリティ技術ラボラトリー 研究員
- 杉浦和彦氏 AOS リーガルテック株式会社 シニアバイスプレジデント
- 山口貴亮氏 最高検察庁検察改革推進室 検事